



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2021年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 日本電波工業株式会社

コード番号 6779 URL <https://www.ndk.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 加藤 啓美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 竹内 謙 TEL 03-5453-6711

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	22,267	26.7	2,839	—	2,601	—	2,430	—	2,430	—	2,801	—
2021年3月期第2四半期	17,575	△11.4	△1,453	—	△1,663	—	△2,157	—	△2,157	—	△2,059	—

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円 銭		円 銭	
2022年3月期第2四半期	123.86		62.47	
2021年3月期第2四半期	△109.93		—	

#### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	60,372	—	16,353	—	16,353	—	27.1	—
2021年3月期	63,054	—	13,552	—	13,552	—	21.5	—

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭		円 銭		円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公開されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,500	13.5	4,900	72.3	4,400	69.8	4,000	102.4	4,000	102.4	203.83

(注) 直近に公開されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 — 社(社名) 、除外 1 社(社名) 蘇州日本電波工業有限公司

(注) 詳細は、添付資料P. 2 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	20,757,905株	2021年3月期	20,757,905株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	1,133,755株	2021年3月期	1,133,755株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	19,624,150株	2021年3月期2Q	19,624,337株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## 【添付資料】

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更の概要	P. 2
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 3
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	P. 4
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 5
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大による自動車関連部材等の供給網への影響が顕在化し、景気回復の勢いに影を落としました。また、中国では資源高に電力供給制限も重なり、景気の停滞感が強まりました。半導体等の部材不足に起因する供給網への影響は予想以上に長引く可能性があり、世界経済の先行き不透明感は高まっております。

当社売上高の約半分を占める車載市場では、一部の顧客において半導体不足の影響で販売の伸びが鈍化しましたが、受注水準は引き続き当社の販売を大きく上回って推移いたしました。取引条件の改善が継続した結果、第2四半期(7～9月)も売上高は堅調に推移し、第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比の1.5倍弱まで増加いたしました。売上高の2割弱を占める移動体通信向けは、増産投資により、5Gスマホ向け76.8MHzサーミスタ内蔵水晶振動子や超小型水晶振動子の販売が増加いたしました。一方、TCXO(温度補償水晶発振器)の販売が減少したため、第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比で微増にとどまりました。売上高の1割弱を占める産業機器向けでは、米国及びインドにおける5G基地局の前倒し需要もあり、第2四半期の売上高は第1四半期(4～6月)を上回りましたが、米国政府による中国通信機器大手メーカーに対する輸出規制の影響を受け、第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比で微減となりました。売上高の約1割を占める民生向けは、パソコン向け等に音叉型水晶振動子の販売が増加したことにより、第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比2割増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,267百万円(前年同四半期比26.7%増)となりました。

利益につきましては、構造改革費用として250百万円、新潟エヌ・デー・ケー(株)の事業終了に伴う減損損失71百万円を計上いたしました。売上高が大幅に増加した車載向けで利益が改善した他、5Gスマホ向け76.8MHzサーミスタ内蔵水晶振動子の販売増が収益改善に大きく貢献いたしました。また、中国蘇州市にある連結子会社(蘇州日本電波工業有限公司)の新工場への移転完了により、蘇州市政府より受領していた1,136百万円について、補助金収入に計上いたしました。

なお、当社生産工場のあるマレーシアでは新型コロナウイルスの感染拡大により7月上旬に6日間操業を停止、また、中国の蘇州工場では電力の供給制限により9月下旬に2日間の操業停止を余儀なくされましたが、損益への影響は軽微でした。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は2,839百万円(前年同四半期は営業損失1,453百万円)、税引前四半期利益は2,601百万円(前年同四半期は税引前四半期損失1,663百万円)、四半期利益は2,430百万円(前年同四半期は四半期損失2,157百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

前連結会計年度末に比べ、総資産は、現金及び現金同等物の減少2,278百万円、未収法人所得税等の減少785百万円、流動資産のその他に含まれる未収消費税等の減少742百万円、営業債権の増加954百万円、棚卸資産の増加293百万円等により2,681百万円減少して60,372百万円となりました。負債は、借入金の減少3,812百万円、流動負債のその他に含まれる前受金の減少1,211百万円、未払法人所得税等の減少265百万円、デリバティブ負債の減少229百万円等により5,482百万円減少して44,019百万円となりました。親会社の所有者に帰属する持分は、四半期包括利益合計2,801百万円の増加により、16,353百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末の21.5%から5.6ポイント上昇して27.1%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月14日に公表した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期の連結業績予想を修正しております。当該予想数値の修正に関する内容につきましては、本日(2021年11月9日)公表の「第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結製造子会社である蘇州日本電波工業有限公司(1994年1月設立、中国江蘇省蘇州市)は、すべての事業を蘇州日電波電子工業有限公司(2019年11月設立、中国江蘇省蘇州市)に引継ぎ清算したため、連結除外しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更の概要

該当事項はありません。

## 3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	16,707	14,428
営業債権	10,924	11,878
棚卸資産	10,134	10,428
未収法人所得税等	788	2
その他	2,961	2,325
流動資産合計	41,515	39,064
非流動資産		
有形固定資産	16,440	16,193
無形資産	176	153
持分法で会計処理されている投資	2,844	2,794
その他の金融資産	1,024	1,023
繰延税金資産	498	552
その他	553	590
非流動資産合計	21,538	21,307
資産合計	63,054	60,372
<b>負債の部</b>		
流動負債		
借入金	2,101	1,572
リース負債	466	389
営業債務その他の未払勘定	7,334	7,777
デリバティブ負債	331	101
引当金	321	397
未払法人所得税等	609	344
その他	1,870	644
流動負債合計	13,035	11,227
非流動負債		
借入金	31,630	28,346
リース負債	1,525	1,378
繰延税金負債	492	273
従業員給付	2,411	2,390
引当金	157	155
政府補助金繰延収益	9	7
その他	239	239
非流動負債合計	36,466	32,792
負債合計	49,501	44,019
<b>資本の部</b>		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	5,596	5,596
資本剰余金	5,515	5,515
その他の資本の構成要素	△773	△402
利益剰余金	3,213	5,644
親会社の所有者に帰属する持分合計	13,552	16,353
資本合計	13,552	16,353
負債及び資本合計	63,054	60,372

(2) 要約四半期連結包括利益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	17,575	22,267
売上原価	15,219	16,469
売上総利益	2,355	5,797
販売費及び一般管理費	2,607	3,139
研究開発費	822	736
その他の営業収益	144	1,306
その他の営業費用	522	388
営業利益又は営業損失(△)	△1,453	2,839
金融収益	70	86
金融費用	281	273
持分法による投資損益	—	△50
税引前四半期利益又は税引前四半期損失(△)	△1,663	2,601
法人所得税費用	493	171
四半期利益又は四半期損失(△)	△2,157	2,430
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	18	10
振替のない項目に係る法人所得税	△2	△2
小計	16	8
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	88	173
キャッシュ・フロー・ヘッジ	3	3
振替の可能性のある項目に係る法人所得税	△10	184
小計	81	362
税引後その他の包括利益	97	370
四半期包括利益又は四半期包括損失合計(△)	△2,059	2,801
四半期利益の帰属		
親会社の所有者に帰属する四半期利益又は 親会社の所有者に帰属する四半期損失(△)	△2,157	2,430
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益又は 親会社の所有者に帰属する四半期包括損失(△)	△2,059	2,801
(単位：円)		
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益又は 基本的1株当たり四半期損失(△)	△109.93	123.86
希薄化後1株当たり四半期利益	—	62.47

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金		
		株式払込 剰余金	自己株式	資本剰余金 合計
2020年4月1日時点の残高	10,649	5,859	△2,790	3,068
四半期包括利益				
四半期損失(△)				—
その他の包括利益				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産の純変動				—
在外営業活動体の換算差額				—
キャッシュ・フロー・ヘッジ				—
四半期包括損失合計(△)	—	—	—	—
所有者との取引額等				
株式の発行	2,500	2,500		2,500
株式発行費用		△67		△67
資本金から資本剰余金への振替	△5,053	5,053		5,053
資本剰余金から利益剰余金への振替		△7,538		△7,538
所有者との取引額等合計	△2,553	△53	—	△53
2020年9月30日時点の残高	8,096	5,805	△2,790	3,015

	その他の資本の構成要素				利益 剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ ・フロー・ ヘッジ	その他の 資本の構成 要素合計			
2020年4月1日時点の残高	△128	△1,563	△25	△1,716	△6,652	5,349	5,349
四半期包括利益							
四半期損失(△)				—	△2,157	△2,157	△2,157
その他の包括利益							
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産の純変動	16			16		16	16
在外営業活動体の換算差額		77		77		77	77
キャッシュ・フロー・ヘッジ			3	3		3	3
四半期包括損失合計(△)	16	77	3	97	△2,157	△2,059	△2,059
所有者との取引額等							
株式の発行				—		5,000	5,000
株式発行費用				—		△67	△67
資本金から資本剰余金への振替				—		—	—
資本剰余金から利益剰余金への振替				—	7,538	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	—	—	7,538	4,932	4,932
2020年9月30日時点の残高	△111	△1,485	△22	△1,619	△1,270	8,221	8,221

当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金		
		株式払込 剰余金	自己株式	資本剰余金 合計
2021年4月1日時点の残高	5,596	8,305	△2,790	5,515
四半期包括利益				
四半期利益				—
その他の包括利益				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産の純変動				—
在外営業活動体の換算差額				—
キャッシュ・フロー・ヘッジ				—
四半期包括利益合計	—	—	—	—
2021年9月30日時点の残高	5,596	8,305	△2,790	5,515

	その他の資本の構成要素				利益 剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	在外営業 活動体の 換算差額	キャッ シュ・ フロー・ ヘッジ	その他の 資本の構成 要素合計			
2021年4月1日時点の残高	△39	△715	△18	△773	3,213	13,552	13,552
四半期包括利益							
四半期利益				—	2,430	2,430	2,430
その他の包括利益							
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産の純変動	8			8		8	8
在外営業活動体の換算差額		358		358		358	358
キャッシュ・フロー・ヘッジ			3	3		3	3
四半期包括利益合計	8	358	3	370	2,430	2,801	2,801
2021年9月30日時点の残高	△31	△357	△14	△402	5,644	16,353	16,353



## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期利益又は税引前四半期損失(△)	△1,663	2,601
減価償却費及び償却額	1,560	1,472
固定資産売却益	△3	△9
減損損失	—	71
持分法による投資損益(△は益)	—	50
政府補助金	△7	△1,138
営業債権の増減額(△は増加)	△283	△900
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,064	△230
未収消費税等の増減額(△は増加)	478	756
営業債務の増減額(△は減少)	△121	202
未払費用の増減額(△は減少)	△872	167
デリバティブ資産の増減額(△は増加)	17	—
デリバティブ負債の増減額(△は減少)	△0	△222
引当金の増減額(△は減少)	△1,848	△0
受取利息及び受取配当金	△30	△61
支払利息	252	265
利息及び配当金の受取額	30	61
利息の支払額	△259	△271
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	△850	230
その他	88	△251
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,449	2,793
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,502	△1,227
無形資産の取得による支出	△20	△6
その他の金融資産の取得による支出	△8	△8
有形固定資産の売却による収入	10	13
その他の金融資産の売却による収入	2	49
その他	△5	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,522	△1,187
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	4,932	—
長期借入金の返済による支出	—	△3,800
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,759	—
リース負債の返済による支出	△259	△215
配当金の支払額	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,431	△4,016
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,458	△2,411
現金及び現金同等物の期首残高	10,060	16,707
為替変動による影響	21	132
売却目的で保有する資産への振替に伴う 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△225	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,316	14,428

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (表示方法の変更)

## ・要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第2四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「政府補助金」は、金額的重要性が増したことから独立掲記しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の要約四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書について、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた81百万円は、「政府補助金」△7百万円、「その他」88百万円として組み替えております。

## (セグメント情報)

## ・一般情報

当社グループの事業内容は、水晶振動子、水晶機器等の水晶デバイス、応用機器、人工水晶及び水晶片等の水晶関連製品の一貫製造とその販売であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、報告セグメントは単一となっております。

## ・製品及びサービスに関する情報

品目別の売上高は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

品 目	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		増 減	
	金 額	構成比 %	金 額	構成比 %	金 額	増減比 %
水 晶 振 動 子	11,122	63.3	14,955	67.2	3,833	34.5
水 晶 機 器	4,952	28.2	5,499	24.7	546	11.0
そ の 他	1,499	8.5	1,812	8.1	312	20.8
合 計	17,575	100.0	22,267	100.0	4,692	26.7